

東浦町	所属議員	森 靖広
------------	------	------

【活動選定項目】 国・県・市町で取り 組むテーマを設定	① カーボンニュートラル(CN)への対応 (エネルギー政策、水素社会、電動車) ② 誰もが自由に安心して移動できるモビリティ社会の実現 ③ 自動車整備士・ドライバーの更なる魅力向上	④ 地域への貢献活動 (例:部活地域移行、ボランティア団体の後継者育成) ⑤ 子育て支援策 ⑥ 行政の DX 推進施策 ⑦ 人手不足解消への対応 (多様性や多文化共生への対応など)
具体的活動 (調査・研究含む)	▼3月議会で一般質問 「カーボン・ニュートラルを見据えた取り組み」について質問 Q: <u>ひとつの方法、手段として「パークアンドライド」を推進してはどうか?</u> ⇒質問の趣旨: 町内外へ流入する車両を減らし環境に適した適応策などの考えは	
選択した項目 テーマ ①	A: <u>既存の民間駐車場を活用できるため、パークアンドライドの PR を進めていきたいと考えている。</u> Q: <u>次世代自動車を将来広く社会に普及させていくための方策は?</u> ⇒質問の趣旨: 持続可能な移動手段の実現に向けての取り組みの考えは A: <u>来年度に予定している「第3次東浦町の環境を守る基本計画」の見直しでは次世代自動車の普及に関して、電気自動車の充電設備の充実などインフラ整備の方策等についても必要に応じて行う。2050年カーボン・ニュートラルの実現を目指し、あらゆる取り組みを一段と強化・加速したいと考えている。</u>	
今後の活動	第3次東浦町の環境を守る基本計画が策定され本計画での将来像「未来の責任！環境を守る基本計画」と掲げられ脱炭素社会、循環型社会、自然共生社会などの実現に向けて様々な施策を推進していることは共有できた。カーボン・ニュートラルを「CO2 排出をゼロにする」という視点で捉えており EV だけでなく水素エンジンや合成燃料の技術開発も重要視されている。今やれることをコツコツと積み重ねることが大事であると共に住民意識を向上させる施策も重要だと考える。	



具体的活動 (調査・研究含む)	▼令和6年度新規事業 DX 推進事業 「保育 ICT システムを導入、安心安全な保育環境の整備と保育士の業務負担の軽減を図る」取り組み 導入施設：公立保育園 8 園
選択した項目 テーマ ⑥	【目的】保育 ICT システムを導入し、園を利用する子どもたちや保護者に安心安全な保育環境を提供するとともに、保育士の業務負担の軽減を図り、保育の質の向上と保育士が生涯働き続ける魅力ある職場づくりを目指します。 【保護者のメリット】場所や時間にとらわれることなく、スマートフォンのアプリ上で欠席、遅刻、お迎え時間の変更連絡、配布物の確認、園と保護者との相互連絡環境を構築する。 【機能】・園児情報管理・欠席・遅刻連絡・園内連絡・お知らせ配信・登降園管理・帳票管理（保育の記録）・発育・健康記録 【期待される効果】・保育士さんの工数削減 1H/日 園と保護者のコミュニケーションをスムーズに共有できる体制構築。
今後の活動	効果の確認として、保育士さんの工数削減を検証。工数削減したならば何に置き替えるのかまで児童課と情報共有を行う。保護者の皆さんへもヒアリングを通じ利便性向上したのか等検証していく。